



## ALBA 新聞 ～ 希望の夜明け ～

NO.18 2021/11

日に日に秋が深まり、山々の木々が美しく華やかな季節になりました。  
寒さも厳しくなってくるこの頃ですので、体調には気をつけましょう。

### 関西オススメ紅葉🍁スポット

#### 万博記念公園

オススメの理由は約260万平方メートルに広がる総合公園にある樹木の本数が豊富なことです。日本庭園と自然文化園をあわせて、約20種類・約1万本の樹木が紅葉の時期になるとキレイに赤やオレンジ色に染まります。駅から近いですし、有料ですが近くに駐車場もあります。敷地も広くて中には様々な施設があるので一日中楽しめます。

#### 勝運の寺 勝尾寺「箕面市」

勝運を手にする事が出来る「勝ちダルマ」の寺。秋の紅葉やライトアップも凄くキレイです。  
見頃の時期は11月中旬～12月初旬頃です。

全国から参拝客が訪れるほど「勝運の寺」「勝ちダルマの寺」としても知られているお寺です。

商売・スポーツ・恋愛・厄除・病気など、「人生のあらゆる場面で勝つお寺」として信仰され、その運気を掴み取ろうと毎年多くの参拝者が訪れています。勝負に勝ちたい場合は勝運の寺を訪れるとご利益があるかもしれません。

(T・T)

#### 星のブランコ

有名な紅葉スポットといえば、みなさんはどこを思い浮かべますか？箕面大滝、吉野山、光明寺…。いっぱいありすぎて困りますよね。有名な紅葉スポットもいいけれど、あまり知られていない場所で楽しむのもいいものですよ。そんな紅葉スポットをご紹介します。

私が個人的に行ってみたい紅葉スポットは、「星のブランコ」です。「星のブランコ」は交野市にある日本最大級の木床版人道吊り橋です。この人道吊り橋がある府民の森ほしだ園地は大阪から約1時間で着きます。ハイキングルートを約1時間ちょっと歩くと、一面に緑が広がります。今の時期ですとまだですが、11月中旬から12月上旬頃が見頃なので、体力に自信のある方、運動がてら見に行ってみようと思ったら、ぜひ行ってみてください。

(M・N)

### 秋に食べたい美味しいキノコ

秋のキノコは松茸が思い浮かびやすいですが、なめこ・エリンギ・舞茸など、その他にも沢山、秋のきのこがあります。

今回、松茸の生態や高級品と呼ばれる理由についてご紹介します

#### 松茸の生態

- ・樹齢 20 年から 30 年のアカマツという、幹や枝が赤みがかっている松の根本付近に生えていることが多いです。
- ・樹木とキノコが共生して、栄養を与えあったりして育っています。
- ・マツタケの独特な香りは、マツタケオールと呼ばれる成分があります。
- ・香りはかさによく詰まっています。
- ・国産や、外国産、かさの開き具合にもよって、味と香りの強さが変わって来るともいわれています。

#### 高級品な理由

- ・松茸の育つ環境が減っていて、採れる量も少なくなっています。
  - ・人工栽培が難しく、天然のものを収穫しています。
- などが理由で高級品といわれています。

(T・Y)



## ⚠️ 食べてはいけない危険な毒キノコ ⚠️



①オオワライタケ



②クサウラベニタケ



③カキシメジ



④ツキヨタケ



⑤ニガクリタケ



⑥カエンナタケ

①オオワライタケ…夏から秋にミズナラ、ブナなどの広葉樹、まれに針葉樹の枯れた幹などに発生します。見た目は5から 15 cm程度の傘は黄色で中央部の色が濃い。柄は5～15cm程度で根本が太いです。食べたあとの症状は 5 分から 10 分でめまい、悪寒、ふるえなどの神経症状がでて、大量に食べると幻覚、幻聴などの症状が出ます。

名前からすると、食べると笑いが止まらなくなるのかと思いますが、そんなことはないので注意が必要です。似ているキノコにナメコがあります。

(S・S)

②クサウラベニタケ…カサが灰色、柄の部分が白く華奢、柄に絹のような光沢感があり縦スジが入っている、粘り性がある、広葉樹の根本付近に発生することが多い。クサウラベニタケを食べてしまうと嘔吐や下痢、腹痛といった食中毒症状が出るほか異常な発汗といった症状が見られることもあります。

③カキシメジ…カサの色が茶色、大きいものは肉厚、全体的にぬめり気がある、一箇所にまとまって複数個発見されることが多い。カキシメジを食べてしまうと、一般的に 30 分から 1 時間ほどで食中毒症状が現れます。嘔吐や下痢といった一般的な症状に加えて頭痛が伴うことがあります。キノコ中毒の中では比較的軽い症状ですが、入院例も多数報告されているので、侮れません。

④ツキヨタケ…カサは黄褐色のものが多く、成熟すると紫褐色になる柄は太く短い、柄を切断すると黒いシミが見られる、真っ暗闇の中で発光するものも多い。ツキヨタケは毒性が強く、死亡例も報告されています。食べてから 30 分から 1 時間後に腹痛や下痢、嘔吐といった症状がみられ、幻覚や痙攣を伴うケースも多いです。また、多くの有毒物質を含んでいるため、聴覚異常を引き起こしたり、最悪の場合死に至る危険性があります。

⑤ニガクリタケ…柄の部分から複数のキノコが束になってはえる、同じ場所にいくつものニガクリタケが群生する、黄褐色から硫黄色のカサを持つ、ほぼ平らに丸みを帯びたカサ。枯れ木や、倒木に群生しているキノコを見かけたらニガクリタケを疑って下さい。ニガクリタケは猛毒で、30 分から 3 時間ほどで中毒症状が発症します。激しい嘔吐や下痢といった重篤な症状から、脱水症状を引き起こし、痙攣、ショック症状を引き起こす非常に恐ろしいキノコです。最悪の場合、死に至るケースもあるため絶対に食べてはいけません。

⑥カエンナタケ…真紅色、人間の指のような形をしている、初夏から秋にかけて発生する広葉樹林の根元に発生することが多い。カエンナタケは、食べてしまうと全身の皮膚がただれたり、肝臓や腎臓、呼吸器などの機能が低下してしまいます。最悪の場合、臓器の動きが不全になってしまうこともあり、死亡例も非常に多く、触るだけでも皮膚強い影響をもたらすので、食べることはもちろん触ることも絶対にしないでください。

いかがでしたか？今回紹介した毒キノコはほんの一部に過ぎません。もしも毒キノコを食べてしまったら、

症状が出る 30 分以内に病院へ行きましょう。もしも、吐くことができるようであれば、

できるだけ嘔吐し毒物を吐き出した上で病院へ行きましょう！！！！

(N・M)

それぞれの SNS でプログラムの様子を見ることが出来ます。

是非チェックしてみてください。12 月号もお楽しみに！

